

ささぶねのみち再整備工事（その4）

説明資料

横浜市都筑区 都筑土木事務所

緑道再整備について

緑道再整備のコンセプト

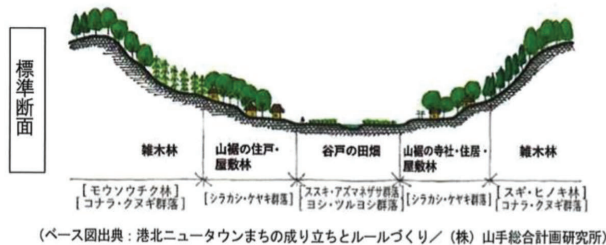
当初の緑道の設計思想を最大限に尊重しつつ、変化する社会情勢に対応した緑道を目指します。

港北ニュータウンの緑道網は、利用者の受ける印象レベルから、都市環境への貢献まで様々な工夫がなされています。

- ◎地形を活かす
- ◎立体交差による連続性の確保と場面転換
- ◎周辺環境に配慮した景観計画
- ◎エッジレス
- ◎視点場を結ぶ有機的な意匠
- ◎自然素材の多用
- ◎デザイン性に優れた施設
- ◎緑道を楽しむ仕掛け

一方、施設の老朽化やバリアフリー化、樹木の巨木化や過密化等が課題となっております。したがって、当初の設計思想や仕様を活かした再整備を行なっていきます。

開発以前

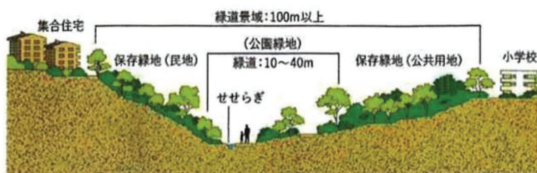


(ベース図出典：港北ニュータウンまちの成り立ちとルールづくり / (株)山手総合計画研究所)

～港北ニュータウンのまちづくり方針～

- ・ 緑の環境を最大限保存する都市づくり
- ・ ‘ふるさと’をしのばせる都市づくり
- ・ 安全なまちづくり
- ・ 高い水準のサービスが得られるまちづくり

計画～現在

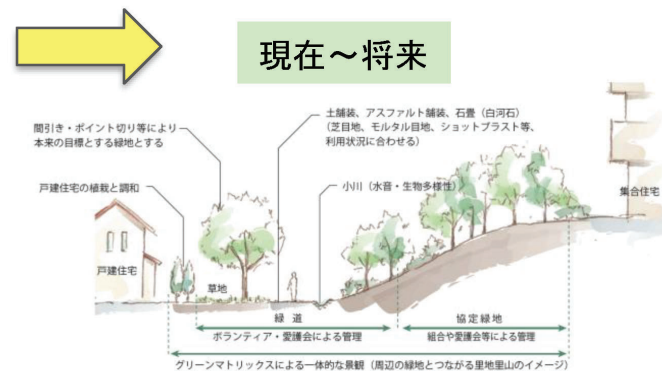


(ベース図出典：港北ニュータウン公園と緑道の計画リーフレット)

～基本構想～ グリーンマトリックス

緑道を主骨格とし、集合住宅、学校、企業用地など大街区の斜面樹林や屋敷林など民有の緑の公園緑地などの公共の緑と束ねて連続させ、さらに歴史的遺産、水景などとも結合させて再構築し、地区全体の空間構成の要としたシステムです。

現在～将来



～ガイドラインの考え方～

- ・ 当初設計思想の継承
- ・ 利用形態の変化、社会的背景に対応
- ・ 市民参加

緑道再整備について

多様な利用形態による課題への再整備方針

空間イメージ



社会的背景、利用形態の変化による課題

ふるさとも感じさせる要素

- ①あぜ道 (土、石等) →
- ②谷戸を流れる小川 →
- ③樹林地 (屋敷林、雑木林) →
- ④一体的な土地利用 →

空間に読み替えられた要素

- ①土舗装、白河石舗装 →
- ②せせらぎ →
- ③保存緑地 →
- ④エッジレス 《付加機能》
・手すり・車止め
・ベンチ・サイン・照明

課題を踏まえた整備方針

- ①機能的かつ土を連想させる舗装、白河石の保存
- ②せせらぎの継承
- ③樹林地の再生
- ④エッジレスの継承 《付加機能の更新》
・バリアフリー化、デザインの踏襲
・機能性、景観性に配慮、LED化

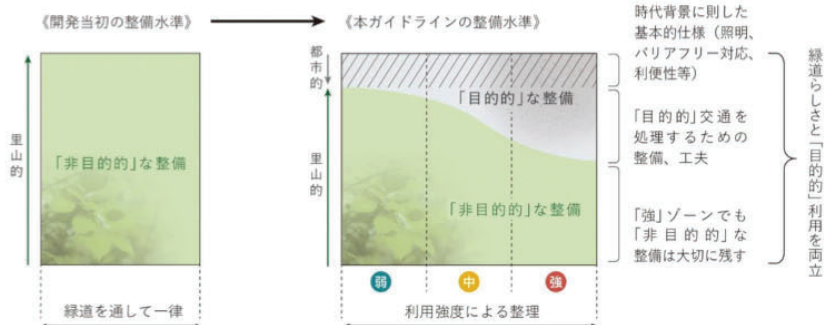
ゾーニングについて

ゾーニング

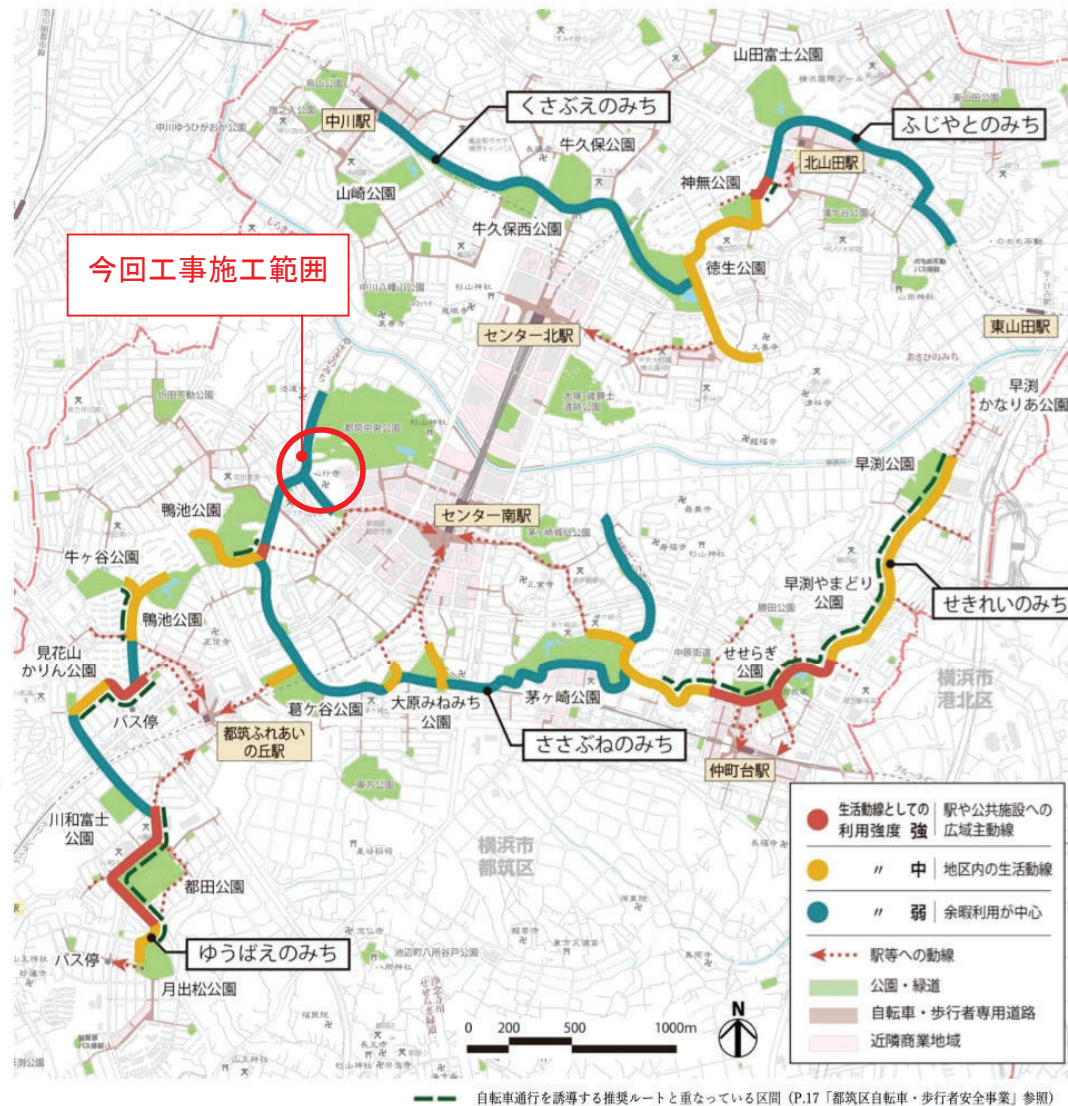
多様な利用形態に対応するため、緑道が区民に果たす役割によってゾーニングし、それに応じた整備を行います。

当初の設計思想を損なわずに変化する社会情勢に対応させるための手法として、ゾーニングの考え方を導入します。
 緑道には多様な利用形態とそれに応じたニーズが存在します。
 そこで、特に整備内容に対する考え方に関きの大きい「生活動線としての利用強度」によるゾーニングを行い、それぞれのゾーンに応じた整備内容を定めます。

※ふじやとのみち・くさぶえのみちについて東京都市大学丹羽研究室より研究データの提供を受けました

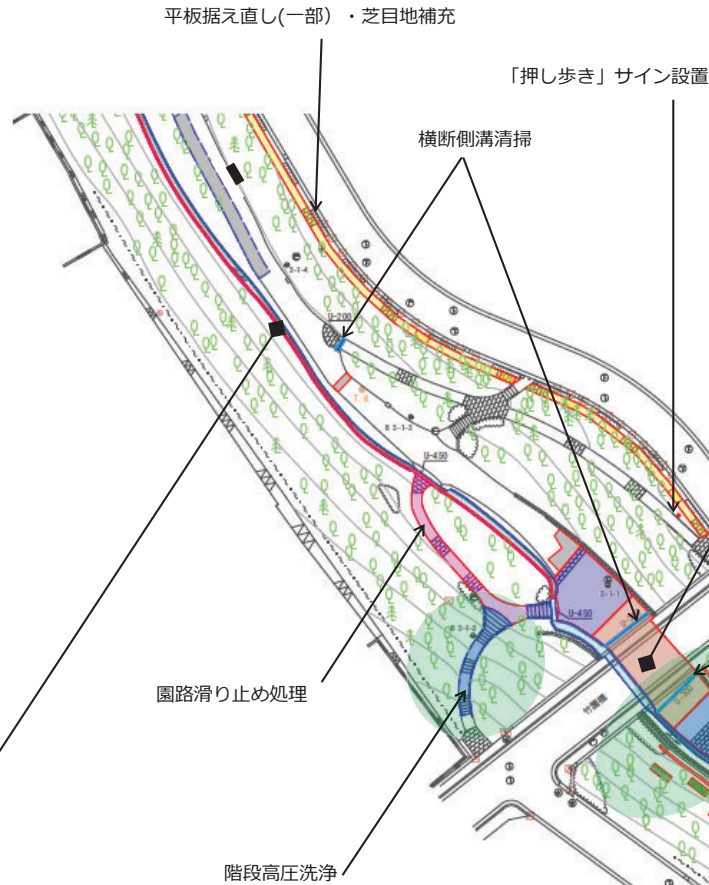


「生活動線としての利用頻度に基づくゾーニング」と整備水準の考え方



「生活動線としての利用頻度に基づくゾーニング」

ささぶねのみち工事（その4）再整備方針（区役所側～竹園橋周辺）



竹園橋下の排水改善

竹園橋の下は、雨水をうまく排水できておらず、常にぬかっています。園路・水路の勾配を調整することで、ぬかみみの改善を試みます。



現況

舗装の改修

区役所側の園路は、長年の利用により骨材が外れ、経年劣化しています。透水性、耐久性が高く、緑道の景観に調和する色合いの舗装に改修します。



現況：表面がはがれ、段差ができている。



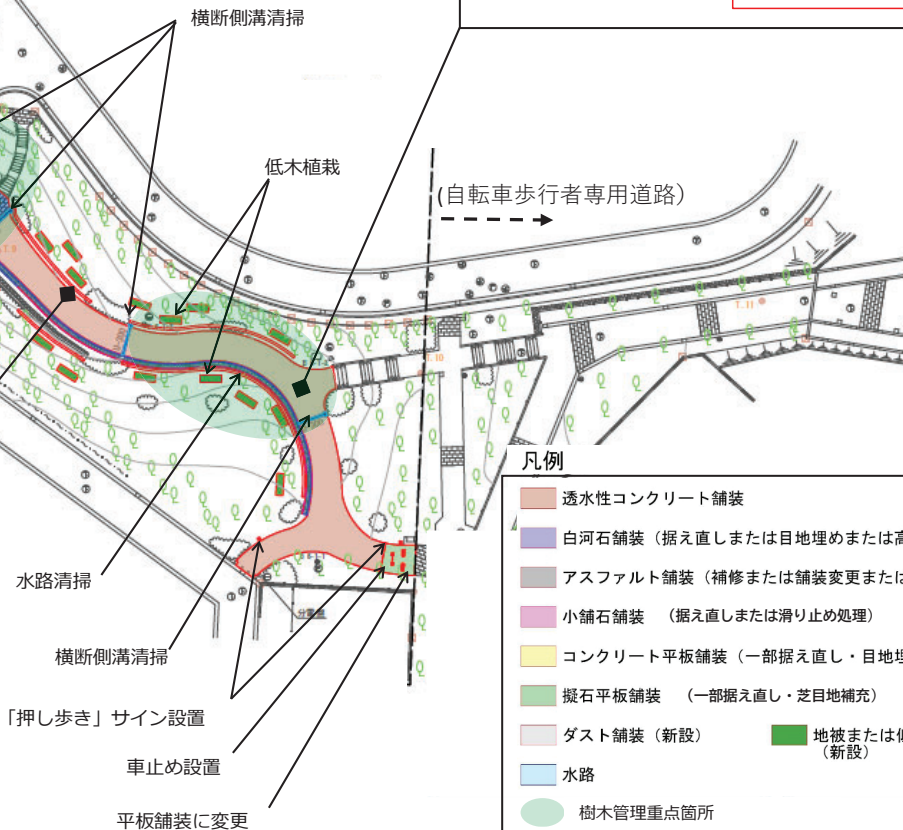
改修後：透水性コンクリート舗装 (イメージ)

植栽帯・水路際の土留設置

園路・水路際の土流れ対策として、繊維製じゃかごを使用した土留の設置を行います。一部エリアでは低木植栽も実施します。



ささぶねのみち(他エリア)で設置済みのじゃかご (同仕様)



凡例

- 透水性コンクリート舗装
- 白河石舗装 (据え直しまたは目地埋めまたは高圧洗浄)
- アスファルト舗装 (補修または舗装変更または高圧洗浄)
- 小舗石舗装 (据え直しまたは滑り止め処理)
- コンクリート平板舗装 (一部据え直し・目地埋め)
- 擬石平板舗装 (一部据え直し・芝目地補充)
- ダスト舗装 (新設)
- 地被または低木植栽 (新設)
- 水路
- 樹木管理重点箇所

0 5 10 20m



ささぶねのみち工事（その4）再整備方針（竹園橋周辺～蛭見橋～渋沢橋周辺）

植栽帯の拡幅

大きく成長した樹木の生育環境確保および園路の根上がり防止のため、園路線形を一部変更し、植栽帯を拡幅します。

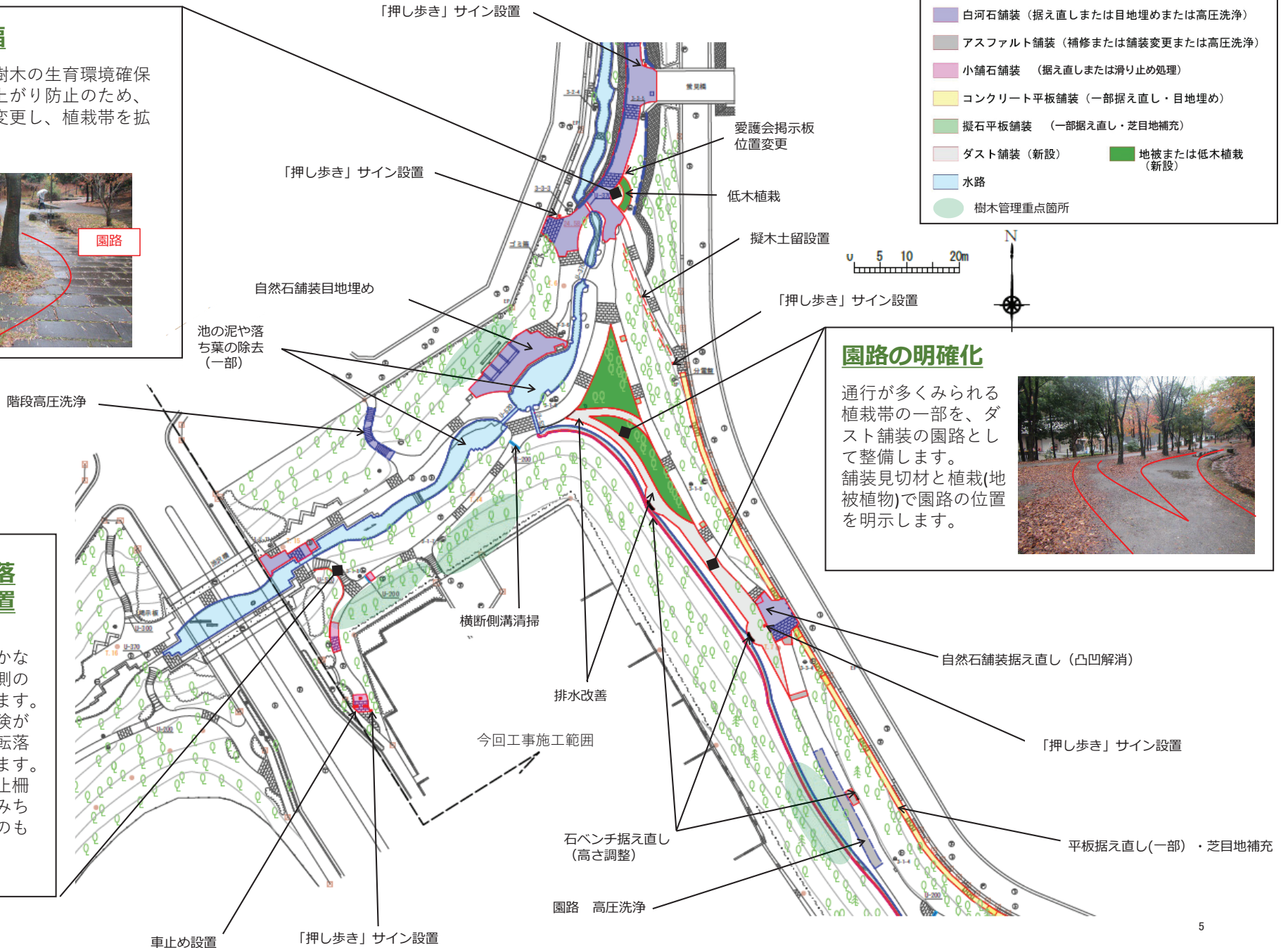


手すり・転落防止柵の設置

手すりが片方しかない階段に、反対側の手すりを追加します。また、転落の危険がある斜面の上に転落防止柵を設置します。手すり・転落防止柵は、ささぶねのみち共通のデザインのものとなります。

凡例

- 透水性コンクリート舗装
- 白河石舗装（据え直しまたは目地埋めまたは高圧洗浄）
- アスファルト舗装（補修または舗装変更または高圧洗浄）
- 小舗石舗装（据え直しまたは滑り止め処理）
- コンクリート平板舗装（一部据え直し・目地埋め）
- 擬石平板舗装（一部据え直し・芝目地補充）
- ダスト舗装（新設）
- 水路
- 樹木管理重点箇所
- 地被または低木植栽（新設）



園路の明確化

通行が多くみられる植栽帯の一部を、ダスト舗装の園路として整備します。舗装見切材と植栽(地被植物)で園路の位置を明示します。



ささぶねのみち工事（その4）再整備方針（蛭見橋周辺～都筑中央公園）

自然石舗装の目地埋め

白河石舗装部の目地が取れて段差になり、通行しづらい箇所があります。目地にモルタルを充填することにより、なるべく平滑にし、通行しやすい舗装とします。舗装材が外れ、不陸が見られるところは、据え直しも行います。



現況



改修イメージ

（ささぶねのみち他エリアの施工済箇所）

平板据え直し(一部)・芝目地補充

その他

- ・手すり、転落防止柵再塗装
- ・車止め再塗装

など実施予定



低木植栽（高木伐採）



凡例

- 透水性コンクリート舗装
- 白河石舗装（据え直しまたは目地埋めまたは高圧洗浄）
- アスファルト舗装（補修または舗装変更または高圧洗浄）
- 小舗石舗装（据え直しまたは滑り止め処理）
- コンクリート平板舗装（一部据え直し・目地埋め）
- 擬石平板舗装（一部据え直し・芝目地補充）
- ダスト舗装（新設）
- 地被または低木植栽（新設）
- 水路
- 樹木管理重点箇所

ささぶねのみち工事（その4）樹林地整備方針

樹林地整備方針

- ・ 樹木の巨木化・高密度化によって暗くなり、コケが繁茂し滑りやすくなった緑道を、明るく安全に通行できるように間引き・剪定を行います。によって明るく安全に通行できるようにします。
- ・ 民地に接している範囲は、民地への倒伏や枯れ枝の落下などが起こらないようにするとともに、目隠しを意識して行います。
- ・ 緑道の印象を大きく改變しないよう、緑道がさらに良い空間になることを目指して整備します。

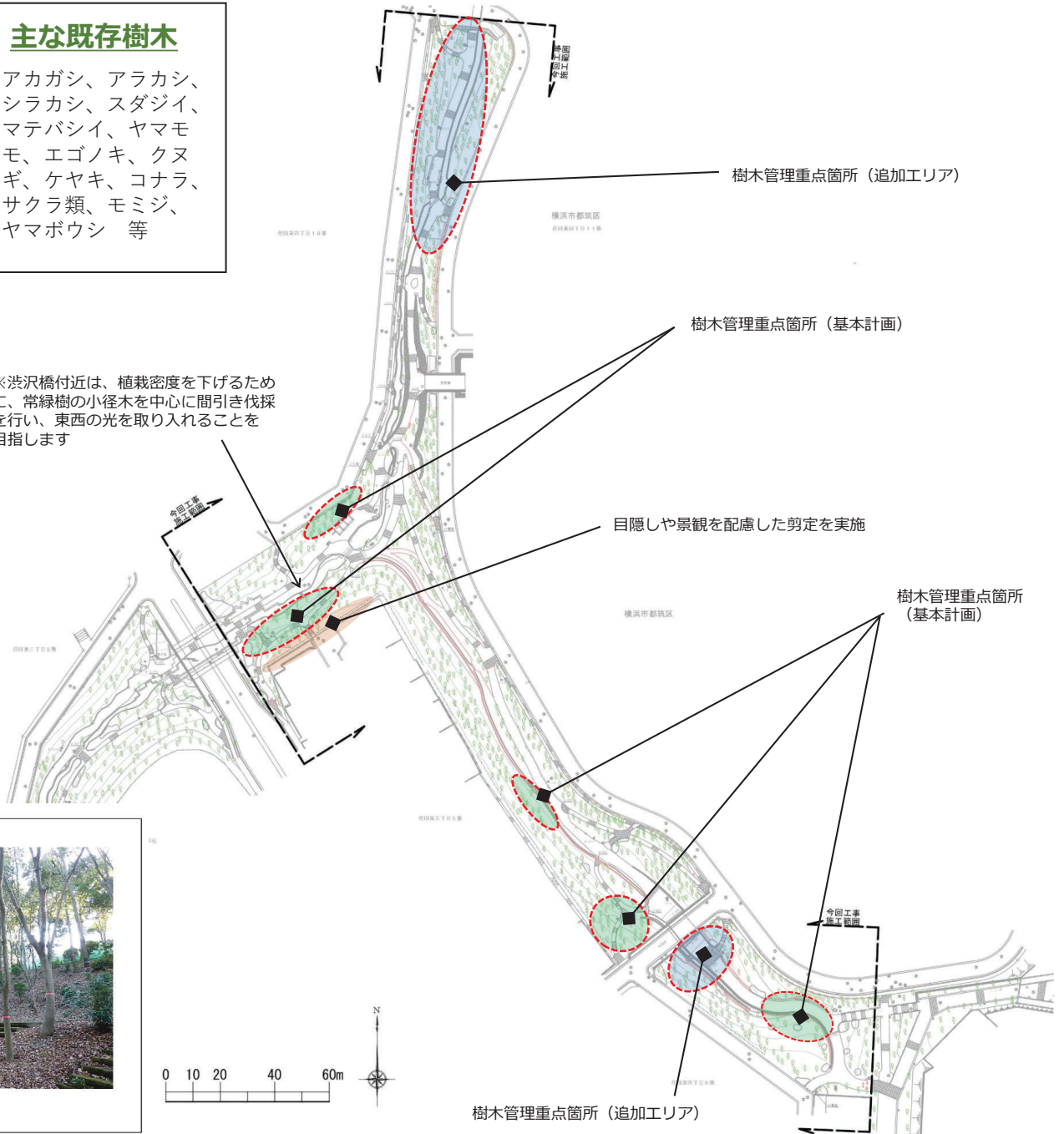


現況

主な既存樹木

アカガシ、アラカシ、シラカシ、スダジイ、マテバシイ、ヤマモモ、エゴノキ、クヌギ、ケヤキ、コナラ、サクラ類、モミジ、ヤマボウシ 等

※ 渋沢橋付近は、植栽密度を下げるために、常緑樹の小径木を中心に間引き伐採を行い、東西の光を取り入れることを目指します

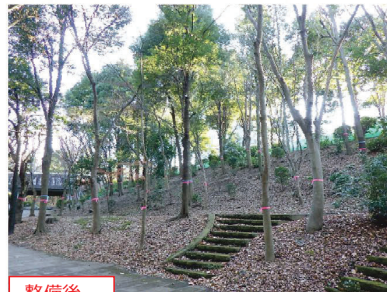


目隠しや景観を配慮した剪定を実施

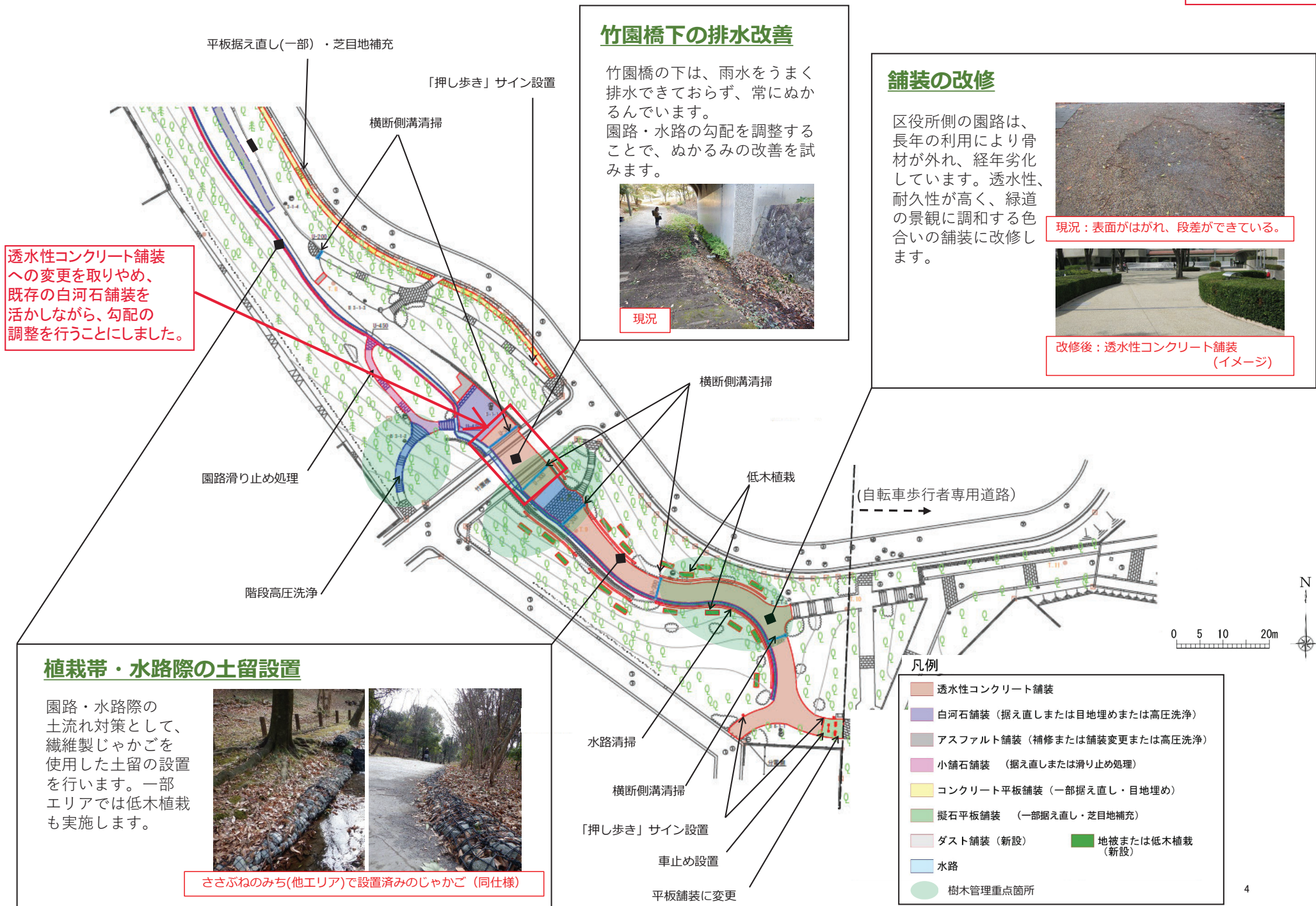
■ 樹林地整備イメージ (既整備部: ささぶねのみち (御影橋~ささぶね橋))



整備前



整備後



透水性コンクリート舗装への変更を取りやめ、既存の白河石舗装を活かしながら、勾配の調整を行うことにしました。

竹園橋下の排水改善

竹園橋の下は、雨水をうまく排水できておらず、常にぬかっています。園路・水路の勾配を調整することで、ぬかみみの改善を試みます。



現況

舗装の改修

区役所側の園路は、長年の利用により骨材が外れ、経年劣化しています。透水性、耐久性が高く、緑道の景観に調和する色合いの舗装に改修します。



現況：表面がはがれ、段差ができている。



改修後：透水性コンクリート舗装（イメージ）

植栽帯・水路際の土留設置

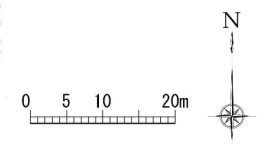
園路・水路際の土流れ対策として、繊維製じゃかごを使用した土留の設置を行います。一部エリアでは低木植栽も実施します。



ささぶねのみち(他エリア)で設置済みのじゃかご（同仕様）

凡例

- 透水性コンクリート舗装
- 白河石舗装（据え直しまたは目地埋めまたは高圧洗浄）
- アスファルト舗装（補修または舗装変更または高圧洗浄）
- 小舗石舗装（据え直しまたは滑り止め処理）
- コンクリート平板舗装（一部据え直し・目地埋め）
- 擬石平板舗装（一部据え直し・目地埋め）
- ダスト舗装（新設）
- 水路
- 樹木管理重点箇所
- 地被または低木植栽（新設）



植栽帯の拡幅

大きく成長した樹木の生育環境確保および園路の根上がり防止のため、園路線形を一部変更し、植栽帯を拡幅します。



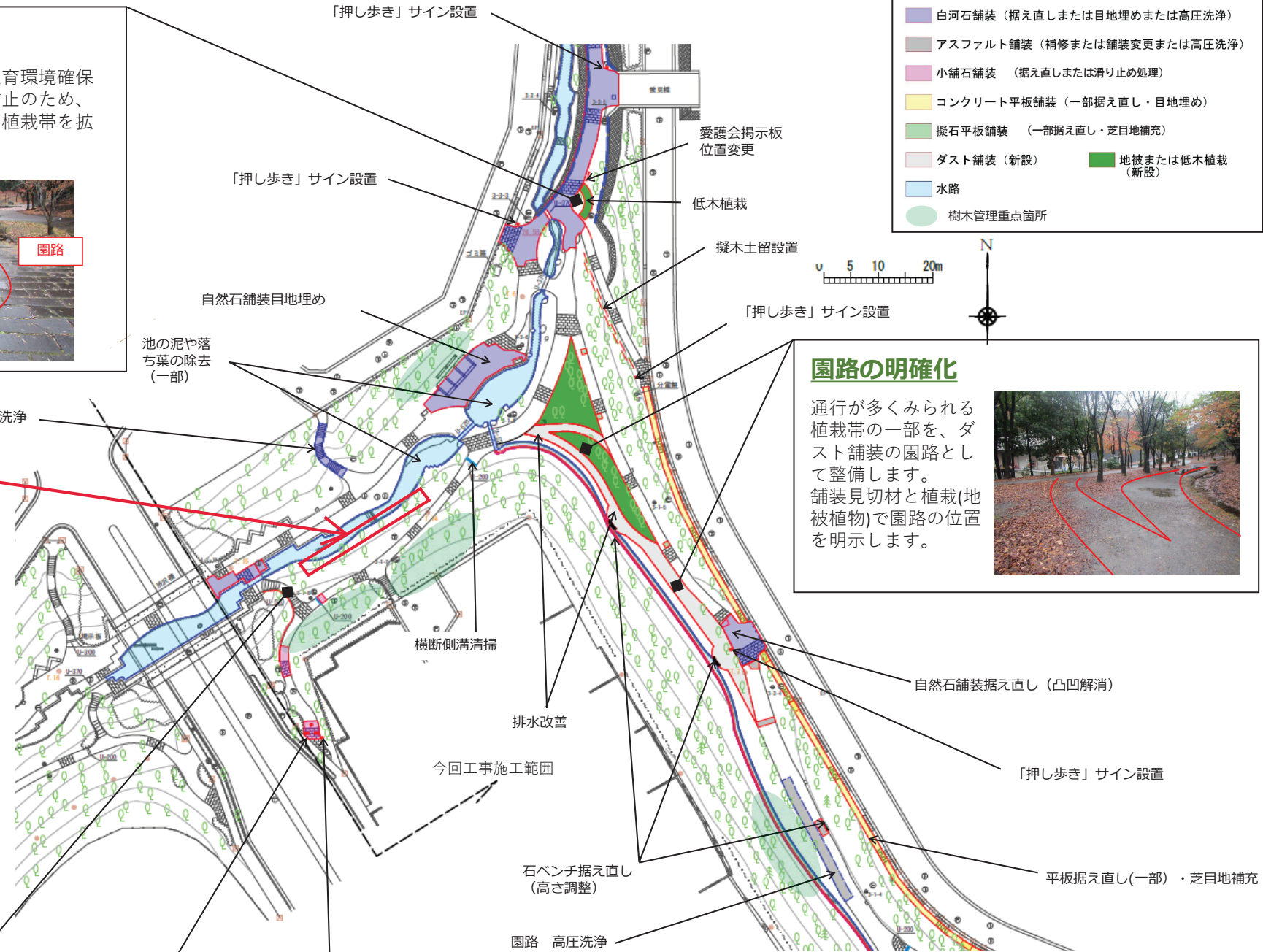
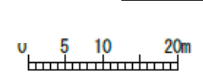
法面の土や落ち葉が池に落ちることを防止するため、じゃかごを設置します。

手すり・転落防止柵の設置

手すりが片方しかない階段に、反対側の手すりを追加します。また、転落の危険がある斜面の上に転落防止柵を設置します。手すり・転落防止柵は、ささぶねのみち共通のデザインのものとなります。

凡例

- 透水性コンクリート舗装
- 白河石舗装（据え直しまたは目地埋めまたは高圧洗浄）
- アスファルト舗装（補修または舗装変更または高圧洗浄）
- 小舗石舗装（据え直しまたは滑り止め処理）
- コンクリート平板舗装（一部据え直し・目地埋め）
- 擬石平板舗装（一部据え直し・芝目地補充）
- ダスト舗装（新設）
- 水路
- 樹木管理重点箇所
- 地被または低木植栽（新設）



園路の明確化

通行が多くみられる植栽帯の一部を、ダスト舗装の園路として整備します。舗装見切材と植栽(地被植物)で園路の位置を明示します。

